

### 戦争法廃止 2千万署名の取り組み

「戦争させない・9条こわすな総がかり実行委員会」が呼びかけている2千万人統一署名を地域で取り組んでいます。最高法規である憲法を無視して数の力で強行可決された戦争法(安保法制)の廃止呼びかけは、全有権者を対象に声を掛けることが大切と考え、全戸訪問を行っております。訪問の1,2日前に署名用紙と呼びかけチラシ(お願いと訪問日時を記載)をポストインして、訪問します。これまで領家1丁目を271軒訪問

し、対話(応対)135、署名86筆が集まりました。尋ねるとカラーの呼びかけチラシと署名用紙を持って出てくれる方、ある時は「安倍さんはひどいね、好き勝手、やりたい放題、国民はもっと怒らなきゃ、頑張っ」と激励されたりします。残り約4ヶ月、何としても、領家全地域を訪問したい。国民主権をないがしろに暴走する安倍政治を止める、私達の本気度が試されていると考え取り組みたい。(領家・針谷)



カッタ (瀬ヶ崎・阿部節子)

#### (お詫びと訂正)

12月号「うらわ宿」で以下の2点に間違いがありました。お詫びをすると共に訂正させていただきます。  
「うらわ宿」バックナンバー  
11月号・53 12月号・54  
信用ならぬ首相の言葉  
佐藤真由美 佐藤真由果

### \* 耳より情報 \*

1月の駅頭宣伝

8日(金)北浦和駅東口	7:00~8:00
9日(土)浦和駅東口	14:00~15:00
11日(月)北浦和駅西口	7:00~8:00
15日(金)北浦和駅東口	7:00~8:00
20日(水)浦和駅西口	7:00~8:00
22日(金)北浦和駅東口	7:00~8:00
25日(月)浦和駅東口	7:00~8:00
29日(金)北浦和駅東口	7:00~8:00

## うらわ宿文芸

#### 川柳

マイナンパー 囚人ではあるまいに  
オスブレレイ いっどこでなぜ 落ちるやら  
いくつでも 署名したい アベ政治  
(岸町・だん吉)

マイナンパー myはお上の事でした  
晋三の影がヒトラー 英機似て  
さあ選挙 花咲か晋三 銭をまき  
据え置きを 軽減税と ネコだまし  
(東口・さぶ老)

#### 狂歌

軽減税 貧しき人にもノミの糞  
お金持ちほど 恵み多かれ  
(東口・さぶ老)

#### くらわがし

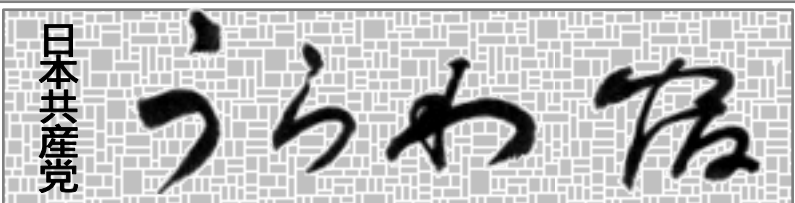
軽減税率 財布の中身が「軽減」するだけです  
自公どの 国民  
(岸町・佐久間純)

#### 俳句

風花や終着に母はなし  
たましひの声聴く夜のもがり笛  
冬茜海辺に恋を捨てにけり  
先達の声遠ざかる寒暮かな  
ことばなくふたりの老ひの障子張り  
落ち葉踏む夜来の雨の重さかな  
(大原一水)

#### 編集後記

国の事業の無駄点検で、『もんじゅ』が指摘された。もんじゅには福井県敦賀市にある。原発で生じたゴミからウラン、プルトニウムを抽出して再び使用するもので、夢の原子炉と脚光を浴びた。約30年前に着工されたが、管理困難で発電開始から事故続き、稼働したのは250日とか。この『もんじゅ』の運営は「日本原子力研究開発機構」(以下、原研)である。原子力規制委員会から原研の技術能力は世界水準以下、点検・検査も心もとなく、お座なりと厳しい指摘をされ、レッドカードの烙印を押されてしまった。この『もんじゅ』の維持費は一日に5千5百円も掛かり、年間20億円にもなり、これまで1兆円を超す税金が投じられた。これ以上の継続は無益無駄であり速やかに廃炉しかない。この『もんじゅ』には問題が山積みしている。原発で生じたプルトニウムの保有量。発注ではプルトニウムの保業に、落札率99%。悪い夢から覚めて廃炉にすべきときが来た。 幹



日本共産党浦和区後援会ニュース  
2015年12月号・54  
浦和区北浦和3-14-16  
TEL/FAX 048-833-4515  
\*\*\*\*\* (部内資料) \*\*\*\*\*

編集部では、暴走するアベ政治を終わらせるべく参院選での勝利を目指して奮闘している日本共産党伊藤岳参院埼玉県選挙区候補を囲んで、ママの会@埼玉の巖岩(ほろいわ)純枝さん、浦和区の会の大友啓子さんに加わっていただき新春鼎談を企画しました。



### 新春鼎談

# 伊藤岳さんを参院に

司会は日本共産党浦和区後援会長の野々垣務さん、場所はさいたま市役所前にある喫茶店「土瑠茶(ドルチェ)」です。  
野々垣：新年あけましておめでとうございます。今年は夏に参議院選挙を控える大変重要な年となりました。本日は伊藤岳さんを囲んで、市民レベルの運動で活躍しておられるお二人の女性にも加わっていただいて憲法のこと、民主主義のこと、選挙のこと、そのほか日ごろお感じになっていることを思いのまま語っていただきたいと思います。最初に昨年一年を振り返っての感想などからお願いします。巖岩さん、大友さんは自己紹介もお願いします。  
伊藤：昨年はこれまでの人生の中でもっとも戦った特筆すべき年でした。県内の多くの地域で沢山の人が出会いましたし、そうした方々と一緒に戦ってきたという実感があります。また戦いの内容も変わって来ましたが、私が投げたボールが投げたままではなく、色んな形で返ってきました。共感であったり、注文であったり

さまざまですが、一方通行ではなく双方向のキャッチボールになってきているということを感じました。  
巖岩：安保法案に反対するママの会@埼玉設立メンバーの巖岩です。浦和っ子で、5才の子供がいます。仕事は都内の私立高校で週一回講師をしています。専門は近世文学なのですが何故か「源氏物語」を教えています。岳さんとはツイッターを通じてよく存じていました。昨年は、安保法案強行に憤りを感じ、今までのなかで最も活動した年でした。一昨年7月1日の閣議決定以来何かできないかと模索し、昨年2月この喫茶店での憲法カフェに参加し、7月にママの会に誘われ設立メンバーになりました。こうした運動で頑張ったというのは初めての経験でした。  
大友：戦争する国づくりに反対する浦和区の会の会の大友です。3歳から浦和に住んでいます。現在22歳と19歳になる息子がいます。まさしく戦争になったら徴兵される年代です。  
息子たちを戦場になどというこ

とには絶対反対です。私はもともと岳さんの近くで活動していましたが、昨年は市議選の応援や浦和区の会などで、だんだん大勢の人の前で話すようになってきました。こんなに表にでたのは初めてですので、大変成長した一年だったと思っています。  
野々垣：さて、昨年はまた憲法や民主主義について問われた一年だったと思います。シールズの「民主主義って何だ」という問いかけをきっかけに民主主義が広場や路上に出てきたと思います。皆さんに憲法や民主主義について語っていただきたいと思います。  
伊藤：先日、蕨での講演会で小林節先生が「普通に憲法を学んだ人は、今度の戦争法案は誰でも憲法違反だと分かるはずだ」と言われているように、昨年ほど憲法が琴線に触れたことはありません。改憲論者である小林先生も、護憲論の方も双方が憲法違反だと言っている。立憲主義を回復させなければならぬということの大いに考えさせられます。  
(2面につづく)



### 新年にあたって

日本共産党市議会議員 とりうみ敏行

後援会員の皆さん、二〇一六年明けましておめでとうございます。昨年、四月の市議選で再び市議会へ送り出していただくことができました。本当にありがとうございます。



一年は早いもので、あっという間に六月議会、九月議会、一二月議会を元気に乗り切ってきました。どの議会をとっても市民の利益が係った重要な議会となりました。

私は、今年三つの抱負を実現したいと決意しています。一つは、「戦争法」を廃止するための二〇〇万人署名を成功させ、「国民連合政府」実現に向けて頑張ります。二つ目は、参議院選挙で伊藤岳さんを必ず国会へ送り出すことです。みなさんのお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。三つ目は、「戦争法」の具体化が進む中で、さいたま市の行政も右傾化が強まっています。市民の安全・安心を最優先に全力で頑張ります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



いことはたくさんあります。そのための広がりを何とかしたい。昨年9.12のデモで浦和の会とママの会や高校生のデモが駅前の県庁通りで出会い、エールの交換をしましたね。あの時は感動しました。今年は是非一緒にやれば良いと思いましたが、そうした積み重ねでオール浦和に近付くと思います。

野々垣：そうですね。是非一緒にやりたいですね。野々垣：国民連合政府構想は、保守的な風土の根強いなかで並大抵のことでは実現できない大事業だと思います。シールズ、学者の会、レッドアクション、ママの会などいろんな運動がおきて。もっともっと広がっていくといいですが、そういう大きな希望を持っていきましょう。本日はどうもありがとうございました。

### 浦和区後援会会長 野々垣務

浦和区の皆さん、そして日頃後援会ニュース「うらわ宿」をお届けしている皆さん、新しい年を迎えてお健やかに過ごしていか。今年もまた引き続き力強いご支援、ご協力をよろしくお願います。

振り返れば、昨年の春の統一地方選挙では鳥海敏行候補のために大きなお力添えをいただき、7千票を超える得票で浦和区で2位、さいたま市全体でも高位当選という躍進で市民の要求や願いを結集することが出来ました。

### 平和の道を求め続けて

これは、憲法違反の「集団的自衛権」の危険性を反戦平和の党の歴史にかけて訴えたことが市民の理解と共感を得たのではないだろうか。同時に地域の暮らしにかかわる具体的な課題（老人養護施設、保育園など）の訴えも市民の切実な声に応えるものでした。

戦後70年を経てようやく民主主義が身体性を持って路上に広場に生まれた感があります。かつての労働組合の旗やコールに変わって、様々な工夫を凝らしたカーニバルのプロテストとも云える表現ではないか。この中で問われたのは、「民主主義とは何だ」「憲法とは何か」と言う事だったように思います。これは新しい市民の民主主義的感性の叫びだったのではないのでしょうか。その応答は、「基本的人権」「個人の尊重」でした。これは近代憲法の原理であり、人類が長い歴史の中でたまたかいつてきた思想でした。私たちは、ひとり一人の「いのち」を大事にする生き方としてこの思想を受けついできました。戦前の2千3万人余の死を記憶し続ける事が「憲法9条」の生き方です。みなさんと共に手をつなぎ平和への道を求め続けて生きたいと決意を新たにしています。最後に、今夏の参院選で伊藤岳当選に浦和区の総力を挙げてたたかいたいと思います。絶大なご支援をよろしくお願いたします。



倍政権をアベとカタカナで書いたのですか」と聞きましたところ、「だってあの人、カンジ（漢字）悪いでしょ。だからカタカナでいいんですよ。もう変えるしかありません」とのことでした。それが皆さんの共通の思いではないでしょうか。



### 自公勢力の落選運動と選挙への関心を高める運動を広げたい — 爰岩純枝

爰岩：自公を落選させ、岳さんを当選させ野党を増やす、それが目標です。そのためには少しでも政治に関心がある人には少しでも話しかけていきます。関心がない人にも関心を持つように工夫していきたいと思ひます。日本はいま政治が右傾化していますが、ヨーロッパでは新自由主義の反動で逆にいい方向になっている国も出てきていますね。カナダのトルドー首相がやっていることもいいですよ。そうした国から元気ももらっています。岳さんには、是非そうした政治家になって欲しいと思ひます。オール越谷はたいへんいい雰囲気でした。共産党、民主党、社民党、市民ネットワークの人達が一緒になってオール越谷として市民運動をしていました。浦和も是非そうした運動になればいいと思ひています。



### 岳さん勝利へ二千万署名とオール浦和の活動を成功させたい — 大友啓子

大友：私はもちろん岳さん当選のために頑張っていきます。また二千万署名運動やさいたま市議会で戦争法反対決議を出すように働きかけていきたいと思ひます。野党共闘も早く何とかしたい。やりた

政治に参加していないのではないかと、というのがシールズの主張で、私も同感です。大友：お二人さんとはちがって私は中高と先生に恵まれてなかったようです（笑）。中学校の先生は共産主義はやる気をなくすからダメみたいなことを言うてたくらいです。私は13年間民医連の事務職で働き、その後身障者の作業所で働いてきましたが、いずれも「戦争は、医療を必然的に必要とする。戦死、病死、負傷、精神を病むなどすべて医療を必要とする。戦争は絶対だめだ」ということを教えられてきました。そのために医療人はたたかわねばならない。そういう中で憲法に照らしてということがよく出てきましたね。野々垣：まだまだ話はつきないのですが、最後にことしの夏の天王山の選挙をどう戦っていくかという決意をそれぞれお願いします。



### 戦争法廃止勢力を勝利させ私もその一翼になって政治を変えたい — 伊藤岳

伊藤：参院選で自公を追いおとし反対勢力を勝たせたい。同時に私もその中に入る、ということが目標です。そして皆さんが言うておられるように、「政治を変えた」という一年にしたいと思ひます。ただ参院選に勝っても政権交代はできません。それでも停止させることはできる。それは政治を変えようということにつながると思ひます。民意を反省させ、立憲主義を回復させる、というあたりまえの政治に戻すことができるでしょう。皆さんと一緒に是非ともそうした年にしたいと思ひます。

昨年暮れ、金子兜太さんにお会いしたとき、「前から気になっていたのですが、金子さんはなぜ安

私は中学3年の担任の先生がその後の私の人生の礎になっています。社会科の先生で、その先生が語る憲法の話が好きでした。憲法にのっとって身近なクラスの問題の話をするのです。たとえばクラスでいさかいが起きると「お前たちの今の考え方は憲法9条に反する」という具合です。クラスの一人一人の生徒の関係を国家対国家の関係としてとらえて分かりやすく説明するのです。私はその先生のようになりたいと思ひ教員を目指す大学を選びました。

話がそれるかもしれませんが、私は政党の人間として。シールズの言葉には正直突き刺さりましたね。「民主主義ってなんだ。これだ」もそうですが「言うことを聞かせる番だ。俺たちが」「言うことを聞かなければ、政府を変える」というコールは特にグサリとききました。こうしたことを言わせてしまう責任を感じると同時に、彼らの期待に応えられるのか、改めるところはないのか、ということを考えさせられました。共産党自身も政党の在り方を考えさせられたと思ひます。それが、昨年9月19日の志位さんの見解になったのだと思ひます。

爰岩：私は、憲法は守るのが当然と思っていましたから、一昨年からの安倍政権のやり方を見ていて憲法を簡単に破っていつてしまうことに強い衝撃と怒りを覚えました。私も、中学と高校の社会の先生の影響が大きかったです。中学三年の社会の先生は常に平和ということを考えさせるような先生でした。高校では一年の現代社会の先生が政治を自由に語る先生で、共産主義への興味もそこからわいてきました。その先生のプリントを今でも持っています。

シールズの奥田君の主張は直接民主制に近いんだと思ひます。今まで、あまりに政治家に任せすぎていたのではないかと、われわれは